

---

# くだらない僕のくだらない学校での一日

teruteru

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

くだらない僕のくだらない学校での一日

### 【Nコード】

N3084C

### 【作者名】

teruteru

### 【あらすじ】

何事にも文句を付けているやる気のない学生の「僕」は、いつも学校の変なところに目を付けてしまう。くだらないってことをメインにしたほのぼのコメディです。

## （前書き）

くだらないことばかり考えている学生の「僕」と少しでも共感してもらえたら嬉しいです。

こつこつこつ。

母が階段を上ってくる足音が聞こえてきた。

「起きてるから~~~~」と部屋に入ってくる前に怒鳴る。  
それでも布団から出ない。

気にせず母が部屋に入り布団から引っぱり出す。

もちろん不機嫌そうにして、「今から起きるのによ」とぼやく。  
これがいつもの朝の風景。  
もつと寝ていたいのに。。。

しぶしぶ制服に着替えリビングへと向かう。

テーブルの上には自分の食事だけない。

だって食べていけないでしょ？という感じの母。

確かに食べていけないときもあるけど作っておくってのが  
母の役目でしょ。

昼前に腹が減って何もやる気なくなるんだよ。。。

なるべく食べるようにするから朝ごはんは作っておいてください！！

学校まで自転車で30分。遠い。

それも途中で上り坂が2回。

まあ帰りは下り坂になって楽なんだけど・・・

やっぱり朝の方が楽であってほしいね。

眠いし。体重いし。これから学校って思うとダルイし。

どこでもドアでも欲しいもんだね。そしたらやる気をちょっとは出しますよ。

学校に着いたよ、やっと。

僕の教室は最上階の4階。

なんでこんなに悪条件なんですよ。

教室に入って好きな子が近くに……。恥ずかしいけど「おはよ」と小さな声で挨拶。

しかし他の女の馬鹿でかい声の「おはよ」で僕の挨拶には返事なし。

まあ気にしてませんよ。

明日も懲りずに挨拶しますよ。

授業のチャイムがなった。

今日の1限目は……。えっ、体育！！

なんで学校始まった途端に体を動かさなきゃいけないんだ？！

これから一日が始まるのにいきなり疲れさせちゃうの？

これは学校のミスですな。

時間割はきちんと考えてもらいましょう。

2限目は数学。

体育のあとに数学ってのは少々残酷な気がするが……

疲れて眠い人もいるのに数式やらなんやらの教科書を見てたら催眠術に

かけられるようなもんだね。

それに数学の先生に限って、ひたすら教科書に書いてあることを

黒板に写して「はい、この問題解いてください」を繰り返してる先生多し。

これじゃ眠くなりますよ。それじゃ僕もおやすみなさい。。。

3限目は国語。

実は、国語だけは得意なんです。

やっぱり得意分野だと今までとやる気が違う。

「はい、ここの文章読んでくれる人」と先生。

「はい！はい！」とみんな元気な声で手を上げる。

「じゃあ、田中君お願いします。」

ちくしょう。次の問題こそは！！

「じゃあ次は佐藤さん」

「ここからは鈴木君、読んでください。」

・・・とずっと手を上げているのに指されない。

あげくの果てには「じゃあ斉藤君ここ読んでください」

・・・えっ？手を上げてなかったんじゃない？？。

僕の唯一の得意分野くらい目立たせろ！！ってか先生、僕のこと嫌いな。。。

4 限目は理科。

今日は実験らしい。

水を水素と酸素の分子に分解します、とそんな感じの実験らしいね。水の中にチューブを入れて電気分解して、と・・・

そうするとビンの中に泡がブクブクくと出て水素と酸素に分かれたとき。

なんか学校の実験って妙に渋いね。

ここで授業は一休みして給食の時間。

やっぱり朝のご飯抜きは厳しいね。腹が減ってしょうがない。

今日の献立は・・・牛乳、きな粉パン（定番だね）、ミートスパゲティ、

野菜サラダ、デザートにフルーツポンチか。

なかなかおいしそうだなメニューだな。

だけど家では、きな粉パンにスパゲティってコンビは出たことないよ。

ときどき学校って変な組み合わせのメニューがあるよなあ。

まあ栄養とか気にしてるんだろうけど。

あっ！そういえば僕、今日は給食当番だったよ・・・面倒くさい。みんなにスパゲティを配っていると、

「俺、大盛りでお願いね」と必ず言う人が何人もいる。はいはい、OKですよ。あとでおかわりすりやいいじゃん、と心の中と思う。

ふゝ、やっのご飯が食べれる。給食配るだけで面倒なのに、いつも母は三食作るなんて

大変すぎでしょ。今日の朝のご飯の件は少し許してあげる。それではみんなで、「いただきます」。

5 限目は社会。

「794ウグイス平安京」「1192作ろう鎌倉幕府」と・・・まあ思っではいたけど・・・社会って必要ないと思います。

歴史を覚えてどうすればいいの??なんか昔のことを知ってこれらの

ことに役立てるらしいのだが。

まあ最近の歴史を役立てるのはいいと思う。第二次世界大戦とかオイルショックとか。

またそんなことが起きたら大変だしね。

ただウグイスが鳴いてるやら、いい国作ろうやら、そんなことを覚えても意味がないんじゃないかな?

と、そんなことを考えてたら「キンコーンカーンコーン」とチャイムが・・・

思ったよりこれからの社会について考えてたらしいです。

6 限目は英語。

英語って発表することが多いから恥ずかしい。

やたら自信持って発表している人もいるけど、なんか変な気がする。例えば、「Did you go to Tokyo?」って文章を「ディジューゴトウトオキョウ」みたいなね。もちろん疑問形だから語尾は力強い。

まあ発音が良くてよろしいけど、つなげないで「ディドウ ユー」

でいいじゃん。

・・・ディジューってねえ・・・ディジュー。。

「じゃあ呼んでください。」

「えっ・・・はい！！ディジュー・・・あっ！」

今日の授業も終わってあとは帰るだけ。

部活はやってないんで。絶対帰宅部とは言いません。部活じゃないじゃん。

この帰り道が好きである。あとは家でぐったり出来ると思うと気分が良くなる。

それに登校は上り坂だけど帰りは下り坂。

はあー今日も一日が終わったな。

今日一番の幸せは学校が終わった今である。

（後書き）

読んでくださってありがとうございます。少しでも共感できるところ  
はありましたか？+。：。／（＊、、（）。。。+

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3084c/>

---

くだらない僕のくだらない学校での一日

2010年10月17日02時21分発行